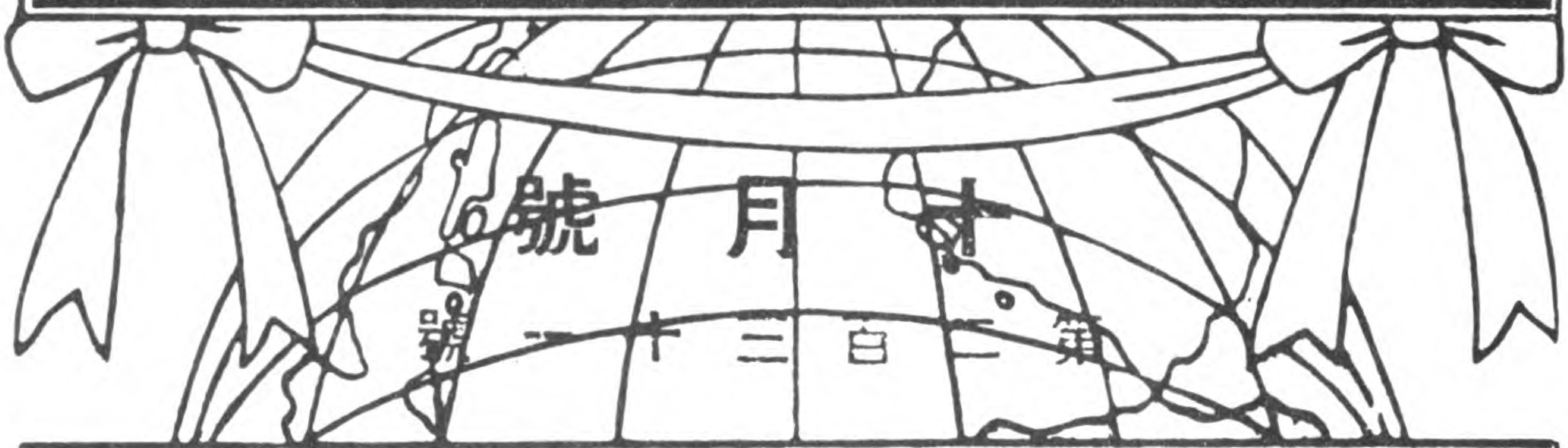
婦人新報



婦人新報第二百三十一號目次

一、二婦人の傳記を手にして　矢島楫
一、新築本部落成　記者
一、貞操の觀念と國家の將來　久布白落實
一、我が母は誰ぞ　綱島佳吉
一、迷信の危險　淺田みか
一、希望に滿つ大方針　みどり
一、光　安中花
一、各部の働
一、少年新報の再刊　守屋東
一、飛田問題の其後　林歌
一、主にお親みなさいませ　山木琴
一、各地通信并報告
一、編輯室より　エー、エム
一、英文　O、K、

基督教婦人矯風會

産婦人科
小兒科

鷲山改め

女醫 吉岡彌生

△院長診療 宅診午前 往診午後

△醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麴町區飯田町
四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

社告

◎婦人新報定價（郵税共）
一部（前金）金六錢
六部（前金）金三十五錢
十二部（前金）金七十錢
（郵劵代用一割増）

◎廣告料
一行（五號活字）金十錢

赤坂區新町三丁目四十六番地
編輯及事務所 婦人矯風會事務所
電話新橋一〇三六
振替口座東京三二四六九

大正五年十月二日印刷
大正五年十月五日發行
發行兼印刷人 矢島楫
編輯人 藤井孝
發行所 婦人新報社
東京赤坂區新町三丁目四十六番地 婦人矯風會事務所
印刷所 東京京橋區銀座四丁目 福音印刷合資會社東京支店

No. 231. October 1916.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

1. Reading the Lives of the Late Two Ladies .... Madam K. Yajima.
2. Removal of the Headquarters .... Editor.
3. The Idea of Purity and the Future of the nation .... Mrs. O. Kuboshiro.
4. Who is my Mother .... Rev. K. Tsunashima.
5. The Danger of Superstition .... Mrs. M. Asada.
6. The Plan Full of Hope .... Midori.
7. Light (Story) .... Miss Annaka.
8. Activities.
   L.T.L. Paper started Again .... A. Moriya.
   The Late News About Tobita .... Miss U. Hayashi.
   Get Acquainted with the Soil .... Mrs. Yamamoto.
9. Reports.
   Headquarters, J'ai Kwan, Osaka, Sapporo, Azabu (Tokyo), Akita, Sendagaya L.T.L. (Tokyo).
   Treasurer's Report.
   Anti-licensed Prostitution Movement.
   Tobita Movement.
10. From the Editor's Room .... A. M.
11. English .... O. K.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 46, Sanchome, Shim-machi, Akasaka, Tokyo.

二婦人の傳記を手にして

矢島楫子

□新築の本部事務所に引移りて

此の夏を北海道に過して歸京後直ちに新築の本部事務所に引移つた私はさま〴〵の感慨に滿されました。三十年前我が矯風會を組織する始めから、希つて居つた家が今日與へられて、此處に落付いた氣分を味ふ事は、丁度花の處女が、わが歸する家を與へられたやうな喜びがありました。この本部は過去に同主義の爲めに闘つた幾多の人々や、また現在全國に亘つて散在する二千有餘の會員の所有であつて、決して私一人のものではありませぬから、どうぞ今後會員諸姉はわが家と思召して愛護せられんことを望みます。

□生き殘りといふ感

晴れやかな新築の二階の一室、輕い疲れをベッドの上に養ひながら過去を懷ひ、將來を考へて、横つて居る折しも、意味深い二婦人の傳記が、私の手に入りました。一つは「山室機惠子」一つは「福田紀子」と云ふのであります。紀子さんは去年九月に昇天されて、丁度一週年記念に當るので、御良人や友人諸氏が其の日を記憶して出版されたものであり、機惠子さんはこの七月昇天され、其の後早々御良人軍平氏の手によつ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て書かれたのであります。お二人とも私から見れば殆ど四十年もお若い方々で、この人々によつて私こそ弔はるべきを、かうして先立たれたかと思ふと、甚く自分の「生き殘り」といふ境界を思はずには居られませんでした。さりながら神樣はなほ此の世にしなくてはならぬ 私の使命のある事をお示しになつて居るのだと、靜かに其の聖旨を畏みたる次第でありました。

□無言の中に許し合ふ

機惠子さんとは眞に一心同體とも云ふべき主義の姉妹でありながら、一度もゆる〳〵對坐して話し合つた事がなかつたのです。只基督敎の其處の集り、此處の會合で一緒になるか、またはさま〴〵の事業の打合せ等で來訪される時に用件を語り合ふのみでありました。それで居て何となく互の心は鏡にかけて照らし合ふ程に解つて居つて、何も云ふには及ばぬやうな氣が致して居りました。最後の日が近づいた節には、私も病床に橫つて居つたので、婦風會からは二三の代表者が見舞に行かれましたが、その折もろく〳〵傳言もせず、終に昇天されて葬儀を營まれた日も、私は依然として病床に在つて、無論行く事も出來ず、何をも申さないで濟んで終ひました。

□精神上の後繼者と思ひしを

恰度三年前機惠子さんが結核療養所設立の爲め、日夜奔走して居られた頃、或日私の許を訪づれて、後藤男夫人に紹介狀を書いてくれと賴まれました。私は男夫人とは同鄕の好誼もある事とて、早速筆を取つて書いた紹介狀には、「このお方は私と姉妹も只ならぬ仲であるから、何分よろしく願ふ」といふ意味を認めた處、其の後機惠子さんは男夫人に面會して、非常に便宜を與へられたと喜んで手紙をよこされました。その手紙はいかにも機惠子さんの面目躍如たるもので、感謝の中にも、己のが志を知つてくれるといふ嬉しさを述べて居られました。私はこの手紙こそ保存して置きたいと、私の保存書類の中に入れて置きましたが、今度圖

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らずも長逝されたに就て、それを見付けたいと探しましたが見當らないのは、いかにも殘念でなりません。かやうに無言の中にも許し、許されて居つた機惠子さんを、私は密かに精神上の後繼者と目して居りましたが、その甲斐なく先立たれた事は、非常に殘念でなりませぬ。然し今度御良人の手になつた傳記を拜見して、私の日頃想像して居つた人物に相違なかつたと、只管に感じ入りました。

□基督教の培ひ咲かせた花

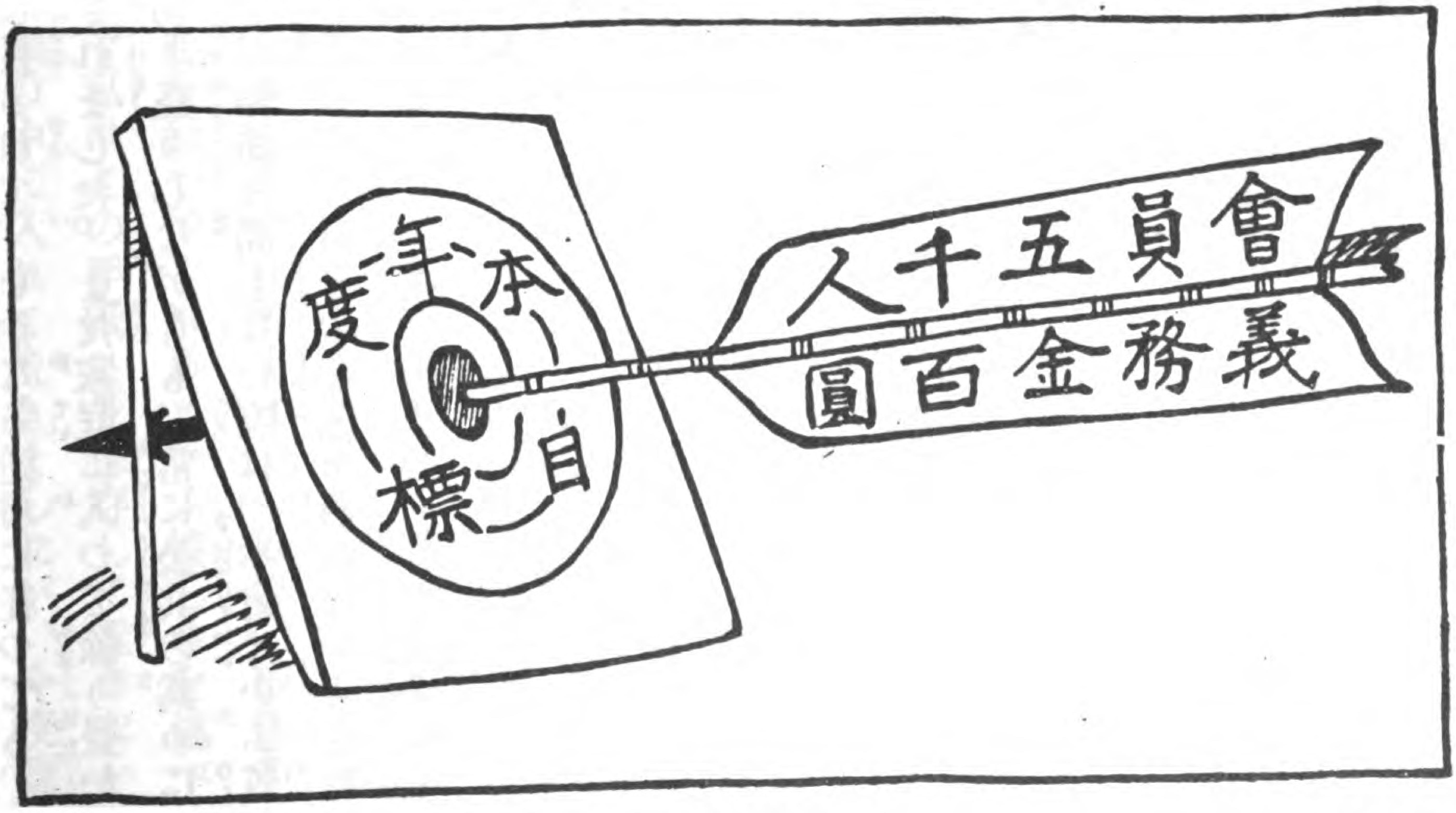
福田紀子さんは、私の學校でまだ振分髮の頃からお世話したので、何となく他人と云ふ氣は致しませぬ。少さい頃から、それは〳〵怜悧な子で、學問はよく出來るし、氣は利くし、非凡な活動家で、何か仕さうな子でしたが、果せる哉、牧師夫人となつて女の身には重過ぎる内外の重任をものともせずに背負つて起ちました。餘りに率直な、餘りに活動的な紀子さんには、隨分批難攻擊もありましたが、然し理解ある先輩友人からは、非常に愛されて、いかなる逆境に在つても、常に幸福に過されました。また家庭に入つて餘り豐かでない家政を切り盛りしながらも、常に公共の爲めに盡すのを忘れず、結婚後間もない頃は、幸會といふ貧民兒童の學校を設けて、自分の嬰兒を負ひながらも教鞭を取つて居られました。其の後久しく日本女子商業學校に英語と音樂の教師をして居りましたが、教授以外に善い感化を與へる事が多く、四年前大に決する處あつて、斷然教職を退いて、花屋を開業して後も、尙修養會等を催して、若い婦人の指導に餘念なかつたのであります。或る人が紀子さんを「基督教が培ひ咲かせた花であつた」と申したのは、適評で、基督の生命が加はらなければ、いかに活動的の婦人でも、かく有効な働らき人とは導かれなかつたでせうと思はれます。

* * * * *

二婦人の靈は今や天に在つて、絕えず私共の上に力を添へられつゝある事と信じて居ります。

本部新築落成

大正五年九月七日赤坂新町三丁目四十六番地に、日本基督教婦人矯風會本部は、赤坂溜池三番地より移轉す、今日迄三十有餘年、我婦人矯風會設立後我土地に我家を設け其基礎を定めて主義擴張神國の建設の爲に戰はんと願ひ祈りし事は漸く今成就せり此爲に幾多の同志が其心身を勞したる。幾多の美談が生まれたることよ。養老の金、銀婚の式、また兒の感謝として、樣々の潔められたる寶は皆一となりて此家に打ち込められたるなり、何の爲にか、只此主義を愛して擴めん爲、主の名によりて榮を期せん爲也、祝福されたる此家。願はくば燈を升の下におく事なからしめ給へ、神よ。



貞操の觀念と國家の將來

久布白落實

錯雜せる貞操觀念

貞操と云ふことは、女の所有物否むしろ占有物のやうに久しく思ひ慣らされて居る國で、之れを男に別ち更らに家より移して國家に結び付くると云ふ事は、只それ丈けでも、一種の新らしい感じを與へます、貞操は女のもの、女は家のものと、長い〳〵習慣で定まつたことのやうに考へて居りますが、是れが抑も間違ひの源と申さねばなりませぬ、女子のみの貞操なるが故に妾を蓄へ權妻を置くと云ふことは男子の手柄と云ふやうな飛んでもない考へが起つて參ります、女子のみの貞操なるが故に、男子としては藝娼妓に戯るゝは當然のことゝなつて參ります、女子のみが貞操の責任者ですから多くの腹違ひの子供が世の中にだん〳〵出來て來る譯です、貞操は蛤の兩面の如く、兩々相應じて一點の隙なき處に全うせらるゝことであるにも關らず一方には少しも問ふ處がありませぬから、他が如何に執着しても完全なる貞操を見ることは不可能です。

屈從を强ひたる從來の貞操

今日までの貞操は屈從の別名では御座いますまいか親に從つて意も進まぬ良人に嫁ぎ、屈托な結婚生活を繼續して居る内に良人は勝手に樂しみを外に求める、家を外に女を作ると云ふ塲合に、貞操なる婦人は、それに對して一言半句も口を挿むことは出來ませぬ、唯己れを省みて辛抱するの一天張りで押し通す内に、終

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ひに黒潮の北山伯爵夫人の如く狂して死すると云ふ段まで進む人は決して一人二人では有りませぬ。外妾の子を默つて育つる位ゐは日々の出來事です、何たる屈從でせう、此間に立つて修養により又信仰に依つて一家の指導者たる責任を感じて立つ婦人は幸福なる哉です、然し十中八九は先づ自ら萎縮し、自暴自棄し、天賦を悉く失ふて終に貞操其物までも失ふ破目に陷ります。

貞操は相對たるべし

婦人矯風會が多年稱へ來つた一夫一婦の制は實にこの根本眞理に立つものです、一人の男子と、一人の女子が互ひに對し、互ひに愛して始めてこゝに神聖なる戀愛が生じます、神の合せ給へる者、人此れを離す可らずと云ふ、深刻なる意味の貞操はこの戀愛の内に初めて生るゝ者と申さねばなりませぬ、男子も女子も生死を通じて其戀愛を守つて始めて實の貞操と云ふ事が出來ます、貞操は相對であつて又絕對です。

貞操には識見を要す

十月號の婦人公論に平塚明子女史は貞操を論じて、女子に、選擇權を收む可きことを辯明せられて居りますが試に卓見と存じます、女子にして若し我が終生の敬愛の標的として一人の男子と契を結ぶ時、若し一時の感情に驅られて盲働するやうな事が御座いましたら、其結婚はひゞの入つた石を土臺にしたやうなもので破滅は期して待たねばなりませぬ、其年齡、體質、地位、學業の根底問題より、進んで其希望、理想、信仰の點に到るまで徐ろに探求して其選擇を以て人生の大事業の一つと數へねばなりませぬ、今日までの選擇は男子側に在りましたが今後女子がも少し同等の選擇權を得ねばなりませぬ、この識見を得ることが貞操の第一歩と申さねばなりますまい。

貞操は訓練を要す

高田畊安氏はいつぞや婦人週報誌上に其家庭の如何にも嚴肅であられた事を載せて居られましたが、一家の中に眞の敬愛が在れば、訓練は從つて起り來る事で御座います、理想に向つて努力する處がなく、各々自墮落な行爲を爲して平氣で居る家庭では決して貞操は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全うせられませぬ、如何に最初理解があり、敬愛した人々でも各自性癖もあり長短もあります、訓練を忘るゝ時は、一時の感情の衝突が、生涯の破滅を招く基となります、貞操は訓練を經て始めて織り爲さるゝ者で御座います。

貞操は犧牲を要す

嘗て米國に住居して居りました頃在留日本人の多くが人手の少ない中で數多の小供を持ち、故國では兩親の下に重い物すら持たなかつた婦人等が、健氣にも我が手一つに炊事洗濯裁縫まで悉く引き受けて、其上に良人の事業に手代つてゆく樣を如何にも愉快に思つて見て居りました、同時に白人職工競爭の激しい中におめず臆せず立ち交つて日夜働いて、多くの子女、國の兩親までも支へて行く男子の努力を貴いものと覩た印象は今に深く腦裡に刻まれて居ります。眞の夫婦の間には、どちらにも懸命の努力があり、責任が有ります、妻は子供と良人の爲めに勞苦し、良人は妻と子供の爲めに難きを辭しませぬ、互ひに自己の快樂を捨てゝ他の爲めに盡す間に一種言ふ可らざる甘き滴りが自づと一家を濕して參ります、此れが所謂十字架の喜びとでも申ませうか、貞操は實に犧牲を要します、然しこれ有るが故に實に人生の幸福の源となりませう。

家は國の基

如何に個人主義が發達して參りましても、父母兄弟姉妹なるものゝ有らん限り、家は人類の最初のホームに相違ありませぬ、一家の内に畏敬すべき父を知り、愛慕すべき母を覩、長幼相助け、相愛し、相敬する兄妹を持ちこゝに始めて一小社會を見出します、こゝで養成せられ、訓練せられ、教育せられて始めて國家なる大ホームに入る準備が出來上ります、小なるホームに於て完全なる養成を受けた人物は、これを國家に容れて何の心配も在りませぬ、古代羅馬の歷史を引用するまでもなく、堅實なる家庭は、有爲の人材を提供する最大、唯一の寶庫と申て差支へありますまい、時に良

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭から思はしからぬ人物を出すことも無いとは云はれませぬけれど、紊亂せる家庭から頻々として生るゝ不良少年不良少女は茄子の木に茄子の生る如く制することが到つて困難で御座います、私共は國家を潔むると云ふやうな大事業を容易にする事は出來ませぬが然し我家を潔むると云ふ事はやつて出來ぬ事では有りませぬ、家は即ち國の基、願くは各自己が家々に堅實なる貞操觀念を養成して以て國家に剛健なる分子を提供し度いものと思ひます。

貞操問題講演團

六七月この方種々準備して、八月を休み、當月に入り、通信、電話、訪問、集會等種々の方法により知名の諸大家の助を得て如何にもして錯雜せる貞操觀念も一つの操つて以て立つに足る處を得るまでに、根本思想を造つて戴き度いとこれ日も足らず盡力して居ります、然し思想は無形の者で此處に在りと申す譯に參りませぬ、寸尺をもつて其生長を量ることも出來ませぬ唯この運動と云ふ事が一つの導火線となつて新聞雜誌、説教、演説等有ゆる方面に之の問題が攻究せられ思考せらるゝに到りました事は望外の感謝と申さねばなりませぬ。

勞多きを憂へず功尠きを厭はず

東京市中は運動は九、十、の二ケ月を以て中心として居ります、講演會開催を勸誘せし教會數、百六十餘、之れに應ぜられしもの十數箇處、講演依賴狀を發せしもの卅五、之に應ぜられしもの十五、僅々十二三ケ處の講演會も講師の差支、集會の準備の調はぬ爲め中止となりしものさへ有つて中々思ふ百一も達するとが出來ませぬ。然しそれにも關らず同人の決心は少しも衰ふる處は有りませぬ、市内一萬二千の工場中百名以上を使用する工場百餘を撰んで更らに運動を進行する計畫で御座います、幸ひに同志の贊助と協力を得て大問題を解決する爲めに微力を致し度いものと思ひます。

九月廿七日稿　赤坂新町三ノ四六新築の
矯風會本部にて

我が母は誰ぞ

番町教會牧師　綱島佳吉

イエス人々に語りをる時その母と兄弟かれに言はんとて外に立ければ或人イエスに曰けるは爾の母と兄弟なんぢに言はんとして外に立てりイエス告し者に答へて曰けるは我母は誰ぞ我兄弟は誰ぞや手を伸その弟子を指て曰けるは是わが母わが兄弟なり。蓋すべて我が天に在す父の旨を行ふ者は是わが兄弟わが姉妹わが母なればなり。（馬太、十二章四六―五〇）

□人情以上のもの

如何いふ時にキリストが「我が母は誰ぞ」といふ言葉を發せられたかと云へば、實にイエスが熱心を以て神の福音を宣傳して居られた時であつた、某人がイエスの傳道があまり熱心である爲に狂氣したのではあるまいかと案じて、其母及其兄弟に其由を告げたのであつた。母マリア及其兄弟は人情としてキリストが狂したと聞いては靜として居られぬ。直ちにイエスの許に其樣子を見ん爲に走せた、然し人多くしてイエスの近くに進むことが出來ない、其時イエスに其母と兄弟とが見舞に來りし事を告げたものがあつた、此時であつたのである、イエスが「我母は誰ぞ」云々と言はれたのは――。且手を伸べて弟子を指し「是れ我兄弟我母なり」といふ非人情のやうに聞こゆる言葉をも發せられたのであつた。然し此イエスの言葉は非人情では決してないのである、人情の細やかなイエスに此言葉を出さしめたのは實に人情以上のものがあつた故である、天の父の旨を行ふものは血縁以上である、信實なる友である、人情以上のものがあるのであると敎へられたのであつた。

□より以上の生命の要求

聖書にイエスの母に關して記るされた處が數ケ處ある、ルカ傳二章にイエスが十二歳の時其父母に伴はれ

てエルサレムに上りし時、父母はイエスを見失ひ三日の後殿にて教師學者の間にありて問答なすを見、父母は駭き、イエスに向ひ、いかばかり案じて汝を見付出さんとしたるよと述べた、母として此言葉は當然の事でまた同情すべきである、然し此時イエスは「何故にわれを尋るや我父の事を務むべきを知らざる乎」と答へられた、人情としては母に申譯なしと云ふべき時であるされど此場合イエスとしては實に人情以上の力に動かされてかく行ひ給ふたのである。また、ヨハネ傳第二章にカナの婚姻の話がある。母マリアは葡萄酒がつきた時にイエスは必ず一大奇蹟を行ふて人々を驚かす事であらうと考へたのであつた、人の母として其子が偉大な事を行ふ程喜ばしく、名譽に思ふ事はない。マリアとても人情に變りはなく、イエスに一刻も早く其奇蹟を行はんことを促したのであつた、イエスは其母の心を讀み給ふたのであつた「婦よ爾と我と何の與りあらんや我時は未だ至らず」とあたかも人情なきが如き言葉を發してお出になる、斯かる言葉を出さしめたものはイエスに人間の生活にはより以上の生命の要求があるといふ事を教へられて居るのである、より以上より高き生命の要求といふ事は肉體を以て地上にあるものが解しがたい事である。

□自己の安全第一

近頃米國あたりでしきりに傳へて居る「安全第一」といふ事が我國にも昨今唱道されるやうになつたが、若し人が「安全第一」といふ事にのみなつたならば如何いふものになるであらふか、人生はより高き生命の要求があるものとするときには肉體の安全第一といふ事は決して安全でない事になる、實に犠牲をなす人の場合の如き安全第一といふ事は失はれてしまつてゐるのである、より高きものに從はんとするときには安全第一といふ事は破れてしまふ、一人の學者がある其人は健康も食事も運動も皆一の學問の爲に捧げて遂に早世したとする、然し人は其人のより高きものに向つて進みより高き生命に支配されたと尊敬を拂ふのである若し安全第一と考へたならば學問の研究もなす事なく美食し遊戲して餘命を保つたであらふ何の得る處なくして。

□血縁以上のもの

國家から考へるときには安全第一といふ事は免されない、今日の歐洲戰爭の如きは實に其例證である、學者あり、詩人あり、各方面の有力なる立派な人が多く戰

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

死して居る、英國の某教會の如きは會員中數百人も出征して居るものがあつて、牧師は一日に三通の戰死報告をあはれなる未亡人となるべき夫人に送つたといふ事もある、此等の犧牲は實に大英國の存立の爲にどうしてもせねばならぬのである、即ち國家の存立の上からより高き生命が存立するといふ事である、此場合自己の安全第一といふ事は出來ぬのである、實に國家の存立は血緣以上のものである。

□「私の心を知らない人だ」

明治十四年に京阪の地に於て初めてキリスト教大說教會が開催された時、大阪では道頓堀の芝居小屋を借り入れて會場とした、辯士として種々の人が立つた、丁度新島襄先生が道德論を述べて居られたときに一方の聽衆の一人は大聲を發し突然「親不孝國賊!!」と叫んだのである、先生は言葉を止めジツト其聲の出でし處を視つめ其人を指さして曰く「あの人は私の心を知らない人だ」と言はれ泪を流された、滿堂の聽集は肅然として聲なく其後再び叫ぶものはなかつた、新島先生は親不孝者であらふが、國賊であらふが、維新前の先生の心に一のやむに止まれぬ囁を受けられ父母にも告げずして脫藩し外國船に投じ支那を經希望峰を廻り米國に渡り苦學勉勵十數年の後歸朝されたのであつた居を京都にトし其御兩親を初め令姊と共に樂しく過された其生活は實にうるはしいものであつた、其後の先生の御生涯は諸君の御承知の通りで神と人とに奉仕されたのである、國家の爲人の爲に盡さねばならぬといふより高き生命の我心を支配する時に於ては「我母は誰ぞや」と叫んで實に立つべきである。

□眞の滿足は即ちこれ

決して人情がないのではない、人情以上のものに動かされて決然と進む其精神はイエスが教へられた通りである、人情に濃やかなるイエスが猶且叫ばれたのであつた、より高き生命の發する場合に種々の障害は顯はれるものである、即ち妥協である、より高き生命の要求とは云へ其親にそむきてまで其事を成さずともよかるべしとかまた友人の忠告に反して其事を成すはよろしからずといふ妥協が起るのである、然し非人情の如くに見えても其より高き生命の支配に向つて眞卒に進む時には遂に反つて中途に挫折したる者よりも眞の喜び感謝をうくるのである。世には斯くの如くそれらの凡てを打ち切り眞直に其より高き生命と信ずる方向に進み遂には命をも失ふ人があるといふ事は何といふ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會員に考へて頂きたい事

迷信の危險

淺田みか子

此夏私がある田舍へ避暑に參りまして、田舍人と交際して居りますうちに、驚くべき野蠻の風習が今猶田舍人のうちに守られて居るのに呆れて仕舞つたのであります。歸京後ある會員のお方にお談し致しますと、其方から矢島先生のお耳に入れたので『これは會員のお方々に是非考へて頂きたい事であるから新報に載せてもらひたい』との仰で茲に書くことに致しました。

私が居りました家の隣りに老夫婦が住んで居りました。そこへ十九歳になる孫息子が時々遊びに參りました。一日其息子が來て寢ころんで居る樣子が平生と變つて居りましたから『どうかしたのですか』と尋ねますと、『もう十日計り前から身體が惡くてぶらぶらして居ります、家に寢て居るとなまけ病氣だと言つて叱られますから時々こちらへ參つて寢て居ります』とて梨など食べて居りました。額を押へて見ますと大分熱があるやうですから、驗溫器を持つて來て量つて見ますと四十度三分といふ大熱で御座います、私は驚いて『是はこんなことをして置いては大變だお婆さん、早く家へ連れて行つて布團の上に寢かし氷で頭を冷やし、醫者をお呼びなさい、食物は牛乳か重湯かにして形のあるものをやつてはいけません』お婆さんは驚いて連れて行きました。數時間の後歸つたお婆さんに聞きますと『早速祈禱者を呼んで見てもらひましたら神樣に怒られたのださうですから一週間祈禱したら癒ると申しました』『手當てはどうして居るかと聞きましたら『別に手當はせんでもいゝとのことで御座います』お婆さ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ん神樣に願ふのもいゝですがね人の體のことですから醫者に診察してもらはなければだめですよ、後で悔んでも仕方がありません隨分大病ですよ、もう一遍行つて相談して下さい、惣領で大事な子ではありませんか』『さうですかね』とて又行つたのですが『どうしても悴がきゝませんから』とて歸つて來ました。そこで私は考へますのに『あんなことをしておくとみす〳〵あれを殺すことになるが醫者を呼んで來ようかしら入費はこちらで出すとして宜しい、併し若し死んだ時に祈禱者のいふ如くにせず醫者など呼んで邪魔をしたから死んだと恨まれても困る、兎に角頭を冷やさなくては』とそこで氷嚢と金二圓とを與へて、『これで氷を買つて來て頭をドシ〳〵冷やしなさい其外醫者に何處が惡いのか診察してもらつて惡い處を冷やさなくてはいけません。』お婆さんは感謝の涙と共に其れを持つて行き病人に見せましたところ、病人は大喜びで『ちきにお祭りが來るからそのお金で着物を買つて着るんだから大事に仕舞つておいて下さい』と申したとの返答で御座います。仕方が御座いませんから氷を買つて屆けると『氷を金槌でぶつかかうとしたらば、飛んで仕舞つて仕方がない』と申しますから錐でかうして碎くのだと敎へてやり毎日々々醫者を呼べ〳〵で五月蠅く申しましたものですから『もう大變よくなりましたから』と申すので御座います。私は不思議に思ひましてあの大患を手當もせず藥も飲ませずよくなるなんて田舍人の身體といふものは、そんなに强健なものかと驚きました。さてそんな事で一週間を過ぎた翌日田舍に見慣れぬ人力車が見えて、黑き紋付羽織を着た人が其家の前に下りました『是は容體が惡くて醫者を呼んだのだ』と私は思ひまして、其家へ行つて醫者に會つて容體をきゝますと『腹膜炎で大患に陷つて居つて絕望だと申したのです』依て私は發病後少なくも二週間を經過して居ること、一週間以前に四十度三分の熱ありしことを談しますと、醫者も驚いて、『私も是はもう餘程長く患つて居るだらうと申しましたら、亭主が「いえ何、つい四五日前から」と申したが實に困つたものです』

と申されました。そこで私は『あの祈禱者などを取締るわけには行かないものですか』と申しましたら『どうも困るのです』とのみでした。その後は度々其醫者を迎へたのでしたが、もう病氣が進んで居るから仕方がありません、後數日にして苦しみ死に、死にました。

もう一つの例は、これは又他の田舍にあつたことですが、十歳斗りの少女が發熱囈語をいふのを、狐が付いたのだとて、病人の上に劍を吊るして出て行かなければこれが落ちるぞとか、狐は油揚が好きだからこれをやるから出て行け、とて無理に病人に油揚を食べさせたりして、遂に虐め殺したのでありました。

どうか地方の會員のお方々は時折集會をお開きになつて是等の無智なる人々に、衛生上の注意を平易に談して聞かせるといふ風になされたり、又都のお方々が御出張に成つて御助力になつたらよいかと思ひます。又小學校などで子供等に衛生の話をして聞かせ、迷信の害を覺らせるといふ風にしたならば、せめて自分等が病氣になつた時に、是非醫者でなければならぬと主張するやうになりましたならば、因襲に囚はれたる老人等を動かすことが出來るだらうと思ひます。

私の家に數年間勤めました女中が、ある時申しますのに『私の村では子供が病氣になると、母親は子供が食べたいといふものを何でもやります、若し死んだ時にあれも食べさせずに、これも食べさせずに死なしたと後で悔まぬやうに、と申しますが、食べさせるから死ぬので御座いますね、私が田舍へ歸つたらハお宅で覺えた衛生のことを村の人々によく話します』と申したことが御座います。そして此女が暇を取つて歸る時に家への土産は驗溫器と氷嚢と氷枕と數種の藥品とで御座いました。其後其女の母親が腦溢血を起した時に、それ等を用ひてすぐと手當をいたし、其生命を取りとめました。それからといふものは『是は皆奥様の御陰です御恩は決して忘れません』といつて、今でも草餅をこしらへたり、味噌漬を持つたりして、折々たづねて參ります、かういう風に無智な人々を救ふことは何と愉快なことではありますまいか。

希望に滿つ大方針

記者

□當然伴ふ困難

此秋からの會の運動の大方針が、男女貞操問題といふ點に定まりました後、各新聞雜誌は今迄にない同情同感を以て此運動方法の良策である事を述べて居ります。兎に角公娼といひ私娼といひ皆男女貞操の微弱である爲に起り來るものと申ても過言では御座いますまいから、今後此方針に從つて全國に教育運動を起す事は、實に當を得たことであります。

扱實行に入りました經驗から申ますと、各所に此問題について演說會講演會を開くまでには多大な文書の往復や行き違ひなどは御座いますが、然し何事でもそう容易に爲し得るものではありませんから、努力してつとめてまゐらなければなりません。

□各地方の奇習

今一番斯うありたいと申す事はと尋ねられましたならば演說後一般聽衆に配布いたします適當の小册子を得たい事で御座います、既にそれ〴〵御願して御座いますが一日も早く出來ることを望んで居ります。

地方によりまして男女間の風儀も樣々で、隨分考慮すべき風俗習慣も多い事で御座います。地方の會員諸姉が其土地の矯風すべき必要ありとお認めになる、祭に伴ふ惡俗な風習などを御通信下さることを得ましたならば非常な參考になることゝ思ます、此夏横濱の北見くら子姉から頂た手紙の終りに、注意深い同姉の觀察された房州の一地方の奇習を御通信下さいました、「こんな事があるのかしらん」と思ふやうな事で御座

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

います、一應諸姉に御めにかけて見ませう。

□お尻つねりの觀音

私が行つて居ました千葉縣の南海岸の小久保といふ漁村に、お尻つねりの觀音樣といふ妙な觀音樣があります、一年三回の縁日には他村からも青年男女が集まつて非常な賑です、何でも此觀音樣の縁日の晩は、若い女とさへ見れば青年と云はず老人と言はず、滅多矢鱈にお尻をつねりますので、私なども此晩十幾度とつねられました、此晩だけはつねつても罪にならないそうで、甚だしいのは青年が若い女の肩に手をかけてつねつたりするのです。又つねられたさに出る女もそれは澤山あります、私は町はづれの山道の所へ信者の二三の方と樣子を見に參りました、玆にはホーカムリをした青年男女の幾組かゞあちらこちらに甘い言葉をさゝやいて居ります。おかしいのは滑稽な女などわざとお尻に太物紙かボール紙を入れて青年がつねらふとしても堅くてつねられないやうにし、却て五尺の男子を退却させるといふ滑稽もあるさうです、習慣とは言ひ乍ら風俗上見逃すべきでないと思ひました。

□觀音樣こそ迷惑

早速村の駐在の巡査と青年會長とに面會いたしまして話しましたら、急に令で禁止しては反動が恐ろしいから徐々に、取締を嚴重にしたいと思ふて居るとの返事でした、また田舎には斯んな妙な習慣もありますので御參考までに申上ます。

不品行な觀音樣もあればあるものとあの夜の光景を思ひ出して――。

といふので御座います、觀音樣こそ迷惑な事で御座います。地方の青年男女に斯うした交際を結ばせるといふのも他に善良な機會と方法がない爲とではないのでせうか、其土地に青年會あり、また學校ありといたしますれば、それらの指導者が先づ考へ教へて斯ういふ習慣を善化しなければなりません、それにしても男女貞操感を養ふには、教育運動により根本からつちかひ養てねばならぬので御座います。道は遠しされど朝は近し、たえず努力し前進しましたならば美はしい理想の鄕に達し得ることゝ信じます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

光

安中花子譯

口

或る朝の事同伴の子供達に取り殘されて、遙か後の方から泣き〳〵危い足取りで走て行く小娘が有つた。手袋の有る方の手で凍えた耳をおさへては溫めて居る

急に照子の心中に何物かが復活つた、ツと窓際を離れたかと思ふと、小走りに其の娘の側へ行つた。

「如何したの？」

「足が冷くて歩ない。」遂々大聲を擧げて泣き出した。

「ちや、小母樣の家で火に當つていらつしやい。」

寒さにをのゝいて居る小さい身體を抱き上げて臺所へはいつた。

「溫くなつたら小母樣が學校迄送つて行つて上げますよ。」

耳埀は霜燒で目も當てられぬ有樣類は氷のやうに冷い身體に合はぬ薄片な上表をぬがすると其の下は穴だらけの本綿着物唯一枚だ。

「これぢや寒い筈ね。もつと厚い着物は無いの？」

丸い眼を一層見張つて頭を振つた。

「何といふ名？」

「露ちやん。」

「唯露ちやんぢやないでせう、苗字は何といふの？」

「知らない、唯の露ちやんよ。」

照子の口元に珍らしく微笑が浮んだ。

「家は何處？」

「彼方の方。」漠然と南の方角を指した。

「學校へ行くの好き？」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「私學校へ行くんぢやないの。幼稚園よ。
――家の父様は兵隊様よ。小母様所の父様も？」
若い寡婦の眼から熱い〳〵涙がにじみ出た。

「エヽ、然うよ。」

「泣かないでいらつちやい。」照子の着物を撫でゝ、自分ではしきりにすかして居る積りらしい。

「泣くの御止ちなちやいね。――小母様の母様も病氣？」

「露ちやんの母様は病氣なの？」

「エヽ。」

「それぢや誰が露ちやんのお世話をして下さるの？」

「お隣の小母様」、

照子は露ちやんの手を引いて幼稚園へ送り届けた、而して保姆から此の子の境遇の大略を聞いた。

父親は戰死、母親は肺炎で入院、露子は隣家の世話になつて居る。

「其隣人と云ふのも餘り樂では無さそうですね。此の寒さに随分酷い薄着がさせてありますの。」

「左樣ですかね。住居なんかもかなり酷う御座います。露ちやんの家の方には恩給が附いて居るのですが何しろ母親があの大病ではやり切れませんわね。」

□

照子は我が家の裁縫部屋に仕舞ひ込んである裁縫機の事を思ひ起した。

「あの子に着物を作つて遣つたら母親は氣を惡るくするでせうかしら？」

「左樣で御座いますね……」保姆は一寸思案した。

「貧乏人といふ者は割合に意地張りですから、如何かすると當方の親切を取り違へて腹を立てたりしますがね。斯うなすつたら如何です。御自分で病院へいらしつて直接此の村田といふ婦人に御逢ひになつて話をして御覧になるんですね。

然うすれば決して行き違ひは御座いませんでせう。」

照子の顔に一寸當惑の色が現れた、只管に人を避けよう避けようとする思が又しても胸に一杯になつて、病院の混雑を考へた丈けで顔が熱つて來た。

「兎も角も行つて見ませう。」自分でも氣が附かぬ中にかう言つて居た。

家へ歸つてから幾度か其の約束を悔んだが其の度毎に露子のしほらしい姿が目の前に浮んで訴へるやうに見えた。病院へ電話を掛けて見ると村田といふ婦人は非常に熱が高いので面會謝絶との事。詮方なく露子の歸途を待ち受けて身體の寸法を計つた。

ストーブの火のカン／＼燃えて居る前に座つて菓子を頬張り乍ら露子は、聞きもせぬに色々の話をした。其の小さい姿が見えなくなつた時には家内が急にガランとして堪へられない程に寂しく感せられた。

□

「それでこれから町へ行つて何か布を買つて來ようと思ひますの。」

姑の家へ行つて露子の身の上を語り終へた照子は一寸此處で言葉を切つた、

「まあ、母親は怒らないものと定めて居ります。……大丈夫でせう。御姑樣もいらしつて下さいませんか？私一人ではどうも工合が分りませんから……」

姑は涙を流して喜んだ。

「可いとも、可いとも。」其の後を一寸躊躇したがやがて言葉を繼いだ。

「如何に忙しい時でも秀夫は子供が苦しんで居るのを其儘にして置いた事は無かつたよ。」

「然うで御座いましたね、私よく覺えて居ります。」

「秀夫の爲め丈けにでも此の子を助けなけりやならないね。」

「ハイ――、私もさういふ氣持が致します。」

照子の聲はふるへて居た。

□

それから三日後に照子が病院へ電話を掛けた時には露子の母は最早亡き人の數にはいつて居た。取るものも取りあへず幼稚園へ馳け付けて見ると露子の姿も其處には見えなかつた。保姆から貰つた番地を賴りに、漸く住居を尋ね當てたが、隣の家族は既に何

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

處かへ引越した後。然し色々と骨折つた甲斐あつて二三日經つてから其の人達の在家は見附け出したが露子は其の時既に孤兒院へ送られてあつた。

「さう何時までも世話して居る譯には行きませんからね。」素氣ない調子で婦人は話し出した。

「自分の子供を三人もかゝへて居る丈けで澤山。それでさへ、手も廻らず、金も廻らないのですもの。」

照子は力無い歩調を家路に向けた。人生といふものは愈々益々不可解なつて來た。然し兎に角戰爭の毒刃に打たれて惱んで居るのは決して自分一人ではなく、自分は其の數も知れぬ多くの人々の中の僅か一人に過ぎないといふ事丈けは會得が出來た。

異境の土と化した哀れな兵士、心と身體のなやみに儚くも倒れた妻の薄命、五歳にも足らぬ幼なさで早くも浮世の荒浪の中に投げ出された彼等二人の間のいとし子の上を考へ、一體死人といふ者は何の位まで此の世の事が知つて居るだらうなどゝ疑つた。

最後の宵、花の香の漂ふ中で聽き入つた良人の人生觀を思ひ、今更のやうに其の意味をヒシ／＼と悟つた。

家へ歸つて寫眞の面影に見入つた時

「何故……何故……口を利いて下さらないのです。」といふやうな理屈に合はぬ事も口走つた。

長い冬の終夜をマンヂリともせなんだ照子は翌朝早く孤兒院へ電話を掛けて露子に面會の手續を踏んだ。

縫ひ上つた着物を小脇にかゝへ眞紅なリボンを途上で買つて露子の許へと急いだ照子の胸の中には樣々な思が止度もなく湧いて來た。

「獨りボッチ！ 今の中こそ何もかも夢中だらうけれど、大きくなつたら如何にか辛い事だらう。」

泣きはれた眼に又しても露が宿つて來た。

露子は怖づ／＼と取締に連れられて事務所へはいつて來た。これも昨夜から泣き續けたと見えてまぶたが赤くはれて居る。房々した美しい髮を何の容赦もなく無暗に固く引きしめてグン／＼編んであるので平生の愛くるしい面影はなかつた。

「未だ馴れませんので氣嫌が惡るくて困ります」取締の人は辯解した。

「二三日經ましたら宜しう御座いませうと思ひます」

「無理もありませんわね。」

照子が兩の腕を伸ばすと、半分泣き乍ら其の中に抱き込まれて、其儘膝に顏を推しつけて絶え入るやうに泣きじやくりした。（つゞく）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

感謝すべき

少年新報の再刊

守屋東

口資本金二十一圓也

本年の大會に於て私の報告がすんだ後久布白幹事が立つて、「どうも少年部長の働きの報告としては少しも價値のない報告と思ます、なぜなら少しも少年部直接の働きは表はれて居らぬやうであるが、如何」といふお叱をうけました。勿論お叱りではなく質問であつたのでしたから、其理由として一二言述べました中に特に少年新報の廢刊された事が少年部長の働きを半分そがれたやうな感じがしますと申た事でありました。

ところが御質問はなか〱盛んで「何故少年新報を發刊したのか、誰が少年新報をして居つたのか」とたたみかけての御質問に私も度胸をすゑて「斯く〱の次第」と申開きをいたしました。猶私としても斯う聞かれる時には自分の考へも述べたくなりますもので、少年新報を是非再刊したい事から金は幾何程あればとにかくやつて行けるといふ事まで申述べました。

全會の姉妹方も非常に御同情深く種々過去の新報の必要であつた事及び再刊を希望する旨を述べて下さいました。此時議長といふ聲がして川崎姉は起立され「私は少年新報の爲に金二十圓を寄附しますから是非再刊を――」といふ申出がありました。忽ち拍手を以て此申出は受け入れられ目出度再刊すべきもの也といふ事に決定しました。私はあまりな喜に涙を禁ずる事が

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

出來ませんでした。沖田姉は心許りといふて金壹圓をお手渡し下さいました。斯うしたお心こそ何よりの勵ましまた賜であります。

□ローマ字欄を設く

其後屆の手續やらまた購讀者の交渉やらで七月に漸く再刊する運びに達しました。

前には印刷數も萬以上をいたして居りました。然し此度は全く補助なく資本なき財政の上に立ちました事ですから購讀者數に幾分增して印刷することにいたしました。

凡て前金を受取り發送いたす順序に定め百五十通に近いハガキを前の購讀者諸兄姉に發送して、再刊を通知し購讀を乞ひました。初めての返信の來る迄の氣持は一種獨特のものでした、幸に今日までに二千部に近い購讀者を得て感謝して居ります、勿論一部と申しましても四頁の一小紙、代價も一錢、小さきもので御座います、然し何とかしてお役に立つものとしたいと希望を以て居ります、內容は聖書の話、禁酒の話、動物優待等であります、幸ひ向軍治先生がお引きうけ下さいましたからローマ字の一欄も十月號から設くる事にいたしました。

□諸姉の購讀配布を乞ふ

少年新報は丁度婦人新報が大人の機關雜誌であるやうに、少年禁酒軍人の爲の機關紙にいたしたいと希望は持つて居りますが、時事を記載するとの出來ぬ爲に今の處は心ならずも不充分で居ります、然し傳道用に御使用下さるものとしては比較的內容が多いと自任して居りますからどうか御使用下さいませ、如何いふものか御註文が參りますのが宣敎師諸氏に限られて居るやうで實に心細く思ふて居ります、十部以上ならば喜んで郵稅もちで御送りいたします、何卒愛姉方の慈愛によつて誕生再生した此新報を有用に使用して頂きたいと思ます。新報の爲にお祈り下さいませ。

倘、御注文に對して送附されぬ時は早速御通知下さいませ、婦人新報社宛に――、

飛田遊廓地の其後

林　歌　子

いつも此問題に熱心に働いて居られる。林姉から夏頂たお手紙はたしかに、諸姉が聞きたいと思ふて居られる點が認めてあつた、今其まゝを記して御覧に入れることにする。

口村長が取締役

飛田問題は先方が小さい事務所を、畑の中に建てゝ測量を濟し、阪南土地會社は成立していよ〳〵天王寺村の村長が其會社の取締、而して其村長が村民に向つて「私はお前達の親故に決して惡しく計らはず」と其村長が自分の所有地が價が高くなるために、飛田遊廓の土地會社阪南土地會社の取締となつて、明治四十五年難波新地の罹災者の重なる遊廓營業者、上田忠三郎と申すが常務委員とは實に適當の役割と申さんか。住友家の土地は其儘の由に御座候、同家の土地は免許地内の片隅にあればよしすておくとも遊廓營業は出來ないことはないかとも思はれます。

口農民の聲

飛田の農民が大きい演説會を開いてほしいと申候。來る九月八日九日の兩日天王寺村日本基督教會に於て男女貞操問題演説會を催す事に決定いたし辯士は名出牧師、湯淺氏、清水氏（清水夫人の御良人）中村久榮姉にて候、五千枚のチラシを飛田の村へも散布いたし申す可く、湯淺氏の演題は「男女貞潔問題と村民の覺醒を促す」といふ題に御座候、十一月には府會開かれ可申、それまで弓を鳴し太鼓の音を絶たず、愈其府會開催の段に當りては何とか有効なる力ある運動を致したく切に神の御導きを祈り居り申候。

（大阪支部が此戰に於てうくる結果は即ち全國の同志のものが同じく受くる結果である、歐洲戰のそれの如く戰はずい分永いものである、然し、最後の五分間は十一月である、府會の開かるゝ時である、何としてゝも此戰に正義の力を表はし得るやう、金で

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も力でも其人々に應じて充分に應援すべきはずである勿論熱烈に祈るべき事柄であると思ふ。)

土とお親みなさいませ

花ノ課　山本琴子

事の多い秋がまゐりました。

公娼廢止運動の爲めに、或は貞操問題演説會の爲めに、皆様の頭は忙がしく働いて居る事でございませう。難かしい問題の思索に疲れた、あいまあいま、やさしい手に鋤や鍬を持つて、土とお親みなさいませ。

この秋に種をおろしたものは、明年四五月頃には美しい花を開いて、おのづから慰藉者の務めをつくして呉れます。この花が、矯風會の爲めにも、教會の爲めにも、又個人の爲めにもどれほどの可愛らしい働をして呉れるかは申上る迄もございますまい。

左に極く容易い、そして綺麗な花の見られるもの丶、栽培法を申上げて見ませう。

チューリップとヒヤシンスの作り方

植付前の用意。

この二つは球根であります。凡て球根類は植付後、追肥をすると球が腐る恐れがあります故、植付ける前に充分土を肥やして置ねばなりません。

花壇は、日當りのよい、濕氣のない、普通の土より腐葉土の多く混つて居る處がよろしい。花壇の幅は手の届くほどにし、深さ二尺位迄丁寧に掘りかへし、土を柔かにして、馬糞か或は牛糞になほ油粕を適當に加へて、土とよく混ぜ合せて置きます。これは、植付け二週間前にいたして置きます。

植付。

植付の時期は九月の末から十月中を適當といたします。球の尖つた方をまつすぐに上にして、五寸おき位にして、四寸位の深さに植ゑてまゐります。よく土をかけて表面を平にして置けば霜除けの必要もなく、其他の手入れを一切要しません、たゞそのまゝにして置

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

けば翌年四五月頃に美しい花を見る事が出來ます。
鉢で栽培する事は素人にはむづかしゆうございますから、花壇植ゑにして蕾の開きかけ頃に鉢へ移すとよろしゆうございます。但し花が枯れましたら、直ちに又根を花壇におろして置かねばなりません。

根の始末

球は花が散つても其まゝにして置いて、五月の末に、葉や莖の枯れた後、掘り出して日蔭乾しにします。それから葉や莖や古皮を取りのぞいて、平たい籠とか箱に入れてあまり濕氣のない風通しのよい、鼠の食はない處に蓄へて置きます。

かうして始末して置いた球はまた明年の十月に植付けるのであります。チユーリツプでもヒヤシンスでも毎年子球が出來てまゐりますから、年々に花がふえて樂しみなものであります。

なほ東京なれば一球十錢から十五錢位にて求められます。

□□外務大臣も同感□□

（花魁道中の中止）

川上貞奴が女優を十數名引卒して此秋再び歐米に渡り日本の演劇を彼地に於て花々しく演ずるといふ事が都下の新聞に出たさき其演ずる芝居も記してあげました、即「花魁道中」其他さいふ事で御座いましたこれを讀みましたものは唯も同じやうにわざ〳〵外國まで出掛けて一番日本の恥晒な演妓をするものもだなさ思ました。どうかしていくらも外に演ずるものがあるだらふから此ゝだけは中止にさせたいものであるさ思ふて居りました、山室大佐は早速書を廓清會長島田三郎先生に送られまして何さか御盡力をさの事で御座いました、島田先生は懇篤なる意見を認められて外務大臣石井子爵に贈られました然る處石井外務大臣は直筆で御同感のむね申越されたので御座います。外務大臣が吾等さ同じやうに日本の恥になる演劇を外國で演ずることに不贊成であるさいふ事は當然な事でございますが然し兎角當然だと思ふ事でも當然さ認めて下さらぬ事が多い時に大臣が同感であるさ發表され猶恥になるやうなものは取締るやうに申さるゝ事は喜ばしい事であります、斯うゆうこさはどうしても官民心を一にして廓清して行くべき事でありませう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

各地通信

本部

九月四日、本部に於て常置員會開催、出席者、藤井。ガッドレット。山本。田山。久布白。川中。川崎。板倉。木村。古田。安中。以上拾壹名。

一、新本部事務所落成につき引きつぎの件。
　建築委員に願て七日に引繼をなす事。

一、新本部事務所建築費の不足額を如何にすべきや。

一、五錢運動の報告及び相談、

當日會頭副會頭缺席の爲通信書記藤井幸司會す

九月十六日臨時常置員會を開く、出席者、松宮。沖田。田山。守屋。ルエス。木村。湯淺。岩村。皆川。川崎。藤井。井深。久布白。川中小宮。中村。井深姉司會の下に左の諸件を決議す。

一、本部建物新築披露の件、
　イ。捧堂式は來春四月大會の時、
　ロ、轉宅通知を出す事、

一、本部事務所委員、會頭、幹事、主婦、松宮、根本、川崎、ガントレット、川崎外二人。

慈愛館

八月中旬東京府廳より役人が來館され感化してもらひたき婦人を依頼したきが何人位收館が出來るか猶其婦人等には食費を付けてとの事申越されしに對し役員相談の結果數ヶ條に亘りて返答をなす。

一、本年度に於ては十人收容し得、

一、來年度に於ては一家屋を新築して廿五人を收容し得、

一、新築費用の豫算は六千圓也、

一、キリスト教主義によりて其婦人を指導す

慈愛館に某姉館内の電話の寄附ありたり、ペンロット姉が一人にて四軒を立ち廻らるゝに非常の便宜を與ふる事と感謝の至りなり。

寄附、□金壹圓小橋三四子。□金五圓廣岡淺子□木綿糸數十梱、沖田姉

大阪支部

九月八日九日兩日飛田の隣接地にして高尚なる別莊地たる天下茶屋に公娼廢止運動演説會を開く、各夜男女三名の辯士が熱心に所信を述べられました、私の參りましたのは八日でありました、同夜は殘暑も殊に甚しい夜でしたにも係らず、満場立錐の地なく教會外にも聲の聞ゆる限り數多の人々が熱心に聽いて居られました、最後の辯士である府會議長の湯淺氏は天王寺村民（天下茶屋も天王寺村内）の覺醒を促がすといふ題で談されました、別莊地として品格高き此天下茶屋も飛田に遊廓を設置せらるゝならば直に化して魔窟となり、子女教育に閑靜なる好適地と認められし處も却て育兒上尤も有害なる、不淨地となるのである殊に此村長が遊廓指定地の取締社長となるに至つては、實に言語道斷である、學校の式日等に儼然として兒童に對して訓辭の一つも述ぶべき地位の村長が斯る所爲をして居らるゝに當地の諸君は默して居らるゝ其寬容は實に驚かざるを得ない私をして若し天下茶屋の住民たらしめるならば決して默許しては居りませんと訴へられし如きは必ず同地の人々を反省せしめたであらうと思ひます、聽衆は最後まで謹聽して皆拍手を以て賛同の意を表はされました。

麻布英和女學校LTL

夏休みの間軍人は出來るだけ熱心に働きました、一々書き立てますことはやめておきます、花の課、動物優待課、慰問課の働をそれ〲熱心にいたしました。猶タ－レントマネ－として七圓出金し諸姉のお働きにより十圓入金いたすことが出來感謝いたして居ります。此外一圓七十錢仕事の資本

金として出金いたしました。（書記）

秋田少年禁酒軍

七月の例會を開く二時をつぐるやマーチと共に兵士一同着席し讃美を以て初む、祈に次で聖書交互朗讀あり次に横山日曜學校生徒戸島運夫松岡七郎の聖句暗誦（コリント前書八〇一三節盲等）書記のお話にうつる、賢しこき强々も好める酒の爲に生捕りさせられしを題に、酒の奴隷となり益々暗き道に向ひつゝある同胞のために働く事の必要を熱心に談ぜらる、兵士等はますく校色を鮮かにして努力奮鬪すべき事を語らる、次に歌報告大隊敬禮祈を以て閉會す、やくが如き暑さにも兵士等よく出席し開會中靜肅に話す事を聞けり活氣に滿ちたるよき集會なりき。前會長出席する能はず依つて高橋善治氏を會長となす猶此日は歸米中なりしアンプルスター氏歸國されしにより同師は熱心に米國の禁酒に關する話をお聞かせ下されたり。

札幌支部

九月三日午後一時より組合教會に於て矢島會頭の歡迎會を兼ね例會開催辻師の司會にて會頭の有益懇切なる講話あり佐々木姉の祈禱を以て閉會し、階下の別室にて懇談をなし四時散會す、來會者五十八名新入者五名、

九月四日正午より獨立教會別室にて舊新役員打ち寄り會頭と會食し記念撮影をなす十五名、

千駄ヶ谷少年禁酒軍

九月廿三日午後七時より少年禁酒軍の青年部の集會をなす出席者十名、讃美祈禱の後倉知先生のお話あり續いて軍人相互談合し役員の選擧をなす、編輯委員訪問委員集會委員等なり、小數の會員なる故皆それぐ委員に就任するやうになりたり。

公娼全廢運動日誌

◎九月五日、貞操問題講演につき通信四ヶ處、十時より婦人記者俱樂部開催、國民、毎夕、及び河口姉見ゆ、女子職業問題、貞操問題、婦人クラブの必要等快談數時、

◎九月六日、澁谷同胞教會より講演について相談に見ゆ。

◎九月七日、舊事務所引拂、新事務所へ移轉、

◎九月八日、通信六ヶ所、電話四ヶ所いづれも講演會について。

◎九月九日、訪問一ヶ所、矢島會頭歸宅せらる橫濱城戸姉より公娼廢止資金廿二圓五錢着、

◎九月十一日、東京府より交涉有りし女預りの件につき大久保慈愛舘を訪ふ、一時より本部の相談會、青山學院教會の講演は井深夫人承諾、根本夫人より五錢袋の金七圓九十錢着、岡山炭谷小梅姉より同上二圓五十錢着、

同日澁谷同胞教會の木倉牧師を訪問す、講演會について。通信二ヶ所、

◎九月十二日、電話五ヶ處、訪問牛込余丁町基督教會、いづれも講演會の爲め、

◎九月十四日、電話六ヶ處、通信四ヶ處

◎九月十八日、時事新報の大澤姉見ゆ、貞操講演問について話す、廿七日の講演元田作之進氏承諾。

◎九月十九日、通信八ヶ處、電話二ヶ處、講演會について、

◎九月廿一日、通信三ヶ處、訪問二ヶ處、巢鴨バプテスト敎會及び波多野傳四郎氏、

◎九月廿二日、通信一ヶ處、訪問廣岡浅子女史

◎九月廿三日、通信三ヶ處、電話二箇處、訪問二ヶ處、

◎九月廿五日、通信三ヶ處、電話一ヶ所、

勞多くして効少き一ヶ月は過ぎました、然しこれが爲めに市內の教會、新聞、雜誌、演說家、等の間に男女貞操問題が國家的大問題の一として認められ始めた丈けは望外の成功と感謝せねばなりませぬ、今後着々之の方面に努力し度いと思ひます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人矯風會本部敷地
並ニ建築費へ寄附者

一金三百圓　在日本西洋婦人
一金三百圓　大阪
一金十七圓　苦松(筑前)
一金二十圓　普連土ミッション
一金十圓　星野かま子
一金二十五圓　熊本支部
一金二十圓　神戸青年
一金八十圓　神戸支部
一金三百圓　麹町支部
一金　五　圓　朝鮮大邱
一金三十圓　鹿兒島支部
一金二十圓　呉　支部
一金六百七十五圓五十六錢　芝支部
一金十圓十錢　米國オークランド
一金二百圓　京都支部
一金　　十　　圓
一金十三圓八十錢　}麻布女子青年會
一金二十圓　京都青年部
一金二十圓　水戸支部
一金二十圓　靜岡支部
一金五千圓　米國より
一金四十五圓　神田支部
一金五十圓　横濱支部
一金　五　圓　{内田勝代子 重濱とし子
一金二十圓十五錢　札幌支部
一金八十八圓　小石川支部
一金一圓　船越良助君
一金十圓　牛込支部
一金十圓　寺村正千代姉
一金二十圓　弘前支部
一金五十圓　上毛矯風會
一金二千圓　會頭より寄附
一金七十一圓八十錢　別帳より越金

會計　小崎千代

(十一頁より續き)
偉大なる力であらふか。其力に後進者は勵まされ感せしめられてまた進むのである、安全第一を願ふ者に決して行はるべき事でない、人情にかまけて成し得るものでない實にそれ以上のより高き生命の要求がある故である、此眞理を知り此生命に支配さるゝものとならねばならぬ、安全第一と暮すものも神の生命神の力が我を動かすといふ自覺を得たときには斷然立つて從はねばならぬ、此力に從ふときには誠の安全、平和、自由、喜は與へらるゝものである。

(九月廿四日　番町教會の禮拜に於ける說教、文責記者にあり)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎五錢小袋 發送控

五十口、安東春（江州彦根青年部）

寄附金の集りしもの

一金八十五錢（一七口）川中ゆき、一金六十錢（一二口）ガントレット恒、一金五圓（百口）筑紫つる、一金三圓七十錢（七四口）京都青年部、一金八圓五十錢（一七〇口）京都支部富森ゆか、一金三圓二十錢（六四口）京都支部原田咲、一金二圓五十錢（五〇口）岡山縣炭谷小梅〔一金五圓（百口）一金十三圓三十錢（二六六口）一金三圓七十五錢（七五口）〕以上三口横濱城戸姉取扱、一金七圓九十錢、（一五八口）根本とく、一金七圓七十五錢（一五五口）京都青年部、一金二圓三十錢（四六口）大藤八重、一金六圓二十五錢（一二五口）呉市十時きく、一金二十五錢（五口）靜岡英和女學校一教師、

計金七十圓八十五錢也

總累計三百十九圓三十五錢也

◎五錢小袋 八九月分收支決算報告

△收入の部

一金二百六十圓十錢也　收入總額

内　譯

一金百八十九圓二十五錢也　前月り繰越高

一金七十圓三十五錢也　八九月分收入高

△支出の部

一金三圓八十五錢也

内　譯

一金一圓八十五錢也　郵便代

一金一圓也　演說費

一金一圓也　電車代

殘額金二百五十六圓二十五錢也

會計　川崎正子

◎飛田問題運動金報告

△收入金二十一圓六十三錢也

内　譯

○金二十圓　島田信子、○金一圓六十三錢　宮崎縣高鍋町キリスト教會

△支出金一圓三十錢也、　新聞紙代

△收入累計百六十圓五十四錢也

△支出累計百六十六圓四十六錢也

差引不足額五圓九十二錢也

以上　會計　守屋東

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□□編輯室より

エーエム、

□明治十九年以來會頭が眞心よりの望として、其爲に清い寶を蟻の如く手にあふかぎりを引き集めて感謝して捧げたもので出來上つた此本部事務處―新築の家―土も家も我等が有、今更のやうにうれしさに胸が一杯になります。出來上りました、立派に。見事に。

□京都の大會の時でした、矢島先生が其愛する生徒等から養老の爲にと贈られた二千圓を何の條件もなく本部の建築の一部にと寄附された。報告を聞いた時勇ましく師にならふて奮戰して寶を捧げんことを豫約したのは早や二年前のことでありました。

□今日初めて成りし此家にて机に向ひ此お便を認めます思は感慨無量といふ處でせう、然し顧みれば溜池の角三番地のあの舊事務處の恩を忘れる事は出來ません電車通りの角屋唯の眼にもすぐ解るあの家に於ての三年間は會の歷史に永く記すべき事多い思出の家です。

□今度の家は靜な。本通から離れた處です、山王下で電車を降りれば三分間位でまゐられます、電車通からは見えません、赤坂新町と申ますと我共の會の主張に反對な營業者の多い處で御座います、斯うした處に本部が出來るやうになつたのも又不思議な攝理でせう。

□御上京になつた會員はぜひ御自分の家を御見舞下さることをお忘れ下さいますな、まあ御出になつて建築委員方のお骨折の結果を御覽下さいませ、初めから終まで普賢寺先生は全く私共以上の心を以て此家の爲に御盡力下さいました、御多忙な御勤のある中を。

□矢島會頭は北海道から健康な御身心で御歸京直ちに新築本部に御移轉になりました。して若いに似ず熱心に御働き下さいました山川まし子姉は此秋から救世軍士官學校に御入學になりました、同姉の上に神のお祝福を切に祈るものであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Telephone Contributed to Jiai Kwan. Miss Penrod's self-sacrificing work always calls out hearty sympathizers. A Japanese lady writer of one of the largest newspapers in Tokyo gave twenty-five yen to have a private telephone set in Jiai Kwan, that it might save a little of Miss Penrod's toil. We both appreciate the donor and the receiver.

Foreign Auxiliary is Furnishing the Headquarters. The co-operation of the Foreign Auxiliary is so helpful to us. Ladies are giving their time, and money in order to furnish several rooms of the new building. Miss Davis must come and see the building.

Tokyo is Hard at Work. Lecture work is going on in Tokyo. Churches are opened, and several public meetings were held with reasonable success. There are more than twelve thousand factories in the city. Out of which one hundred big factories are selected and postals are sent asking to have the lectures conducted in each. The work is hard but as the result the public opinion is aroused on this question as never before.

O. K.

Our Goal for this year. { 5000 membership and 100 yen due.

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

WOMAN'S HERALD

(Fujin-Shimpo)

The Autumn Has Come. Heat and rest is gone. Autumn has come loaded with work and energy. Welcome autumn, welcome work. Now is the time to work.

Guest from China. Dr Stone, the president of China W.C.T.U. visited Madam Yajima last month. Owing to her absence Mrs. Gauntlett and Mrs. Fujii arranged the meeting to give a reception. Ship and rain stopped her coming to Tokyo so the ladies went over to Yokohama to meet the guest from the neighbouring country.

Removal to the New Building. On the seventh of September the Headquarters was moved to the new building. Mrs. Kozaki and other ladies of the building committee came and helped. The site is very quiet and is one block off from the car line and a post box is just half a block. The building is so beautifully done—we are glad to welcome our national convention next Spring to this new headquarters.

Sincere Attitude of the Government. Mr. Maruyama, the head officer in police court, is working hard to suppress the secret houses of prostitutes which were rapidly increasing in Tokyo. He called the girls to the office one by one which count several thousand and studied each condition separately. More than three hundred girls were returned to their parents, to their homes. Twenty or more are sent to the Salvation Army Home. Jiai Kwan is also going to take in some of those girls. Although we can not agree with his policy entirely and yet we can not help but admire and thank his sincere work and toil.

Yoshiwara is Lonely. Mr. Ito, the editor of "Kakusei" wrote us that as the result of government's prohibition of Harimise—girls put in show windows. Yoshiwara is not prosperous as before. This too we must appreciate our government's plan.

Osaka is vigorous. Tobita is like the European war holding on its fight. In July and August fourteen churches in Osaka held the public meetings successively. In October the mass meeting of all the Christians in Osaka is going to be held. And at the end of the month they expect to have a mothers' mass meeting. "Tobita shall never be build," is their cry.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察―毎朝毎夕(但日曜、祭日を除く)
院長診察月、金、木午前及木午後六時
林、峯間兩副院長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地(市ヶ谷見附内)
電話番町六二番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱(從停車場半里)
河野高橋兩副院長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察―毎朝(但祭日日曜及土曜日を除く)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

(明治四十五年六月廿五日第三種郵便物認可)婦人新報第二百卅一號(大正五年十月五日印刷毎月一回發行)

本誌一部定價金六錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA